

1. クラブテーマ(目標) : 「クラブビジョンの達成に向かって！」

2022 年に当クラブはクラブビジョンを構築しました。

CLUB VISION

メンバーである事に誇りを持ち 学び楽しみ そして奉仕を率先し
活力のある 明るく楽しいクラブを目指します

昨年度に続き今年度も、このクラブビジョンの達成の為に、クラブが一つになり向っていく事をクラブテーマ(目標)とし、そしてこの達成の為に、目的を持ち以下の活動を計画し実行したいと思います。

サブタイトル : 楽しい例会 笑顔で挨拶 会いたい仲間

2. クラブの活動計画 : クラブ定款 第 3 条「クラブの目的」に沿った活動

目的を持った活動とする為に、今年度はクラブ定款第 3 条に沿った活動を計画し実行したいと思います。

クラブ定款 第 3 条に定められた「クラブの目的」は次の 5 項目となります。

- (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

我々は入会時に定款・細則を遵守する事を宣言いたしました。故にまずは基本的なこの 5 項目の「クラブの目的」に沿って計画を立てて活動をしなければならないと考えます。先ず一つ目の (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すことについては、既にご認識をされていると思いますが、改めて申し上げます、「ロータリーの目的」とは クラブ定款 第 5 条に、次のように条項が記載されています。

「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」

そして、これについては、当クラブで活動中のロータリー研修会 第 2 回若楠会にて、その時に講師をされた、岩崎先生が講和の中でも取り上げられ、次の通りお話をされました。

「ロータリーでは、各自の職業を通じての奉仕の理想を目的としています。一言で言えば、事業を営むに際しては奉仕の心をもってやりなさいと言っているのです。

ロータリーはロータリアン一人一人が営む自己の職業上の倫理向上に努め、それを基礎として、職業奉仕をすることを目的とする団体であって、ここが唯一他の団体にはない特有の理念であって、ロータリーの魅力となっており、約 120 年存続し社会に評価されて来た大きな理由ではないかと思えます。」

このお話に関しては、私個人としても同感致しますし、本年度の活動計画と言うよりも、ロータリアンとして、これを認識した言動を常にしなければならないと思えます。

次に、2つ目の

(b)五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施することについては、本年度はクラブの奉仕事業として、次の2つについて取り組むたいと考えています。

① ロータリー財団地区補助金を利用した青少年奉仕事業の開催

【豊かな森は豊かな海を育む】

森林の林床には落葉をはじめとした有機物が多くあり、これらが微生物により分解されることで豊かな腐葉土が形成されます。雨が降りこの豊かな栄養分が川に流れ込み、いずれは海まで流れていくことで海の世界も豊かになります。里山などの森林環境を整えることは、陸上の環境を豊かにするだけでなく、海まで含めた流域全体の環境を豊かにすることに繋がります。そこで福岡北 R C が地区補助金を使って人的支援そして福岡市かなたけの里公園関係者協力の元、一般市民とボーイスカウトをはじめとする青少年を交えて「里山とは何か？」「なぜ里山に人の手を加える必要があるのか？」「人と自然が共存するためにできることは何か？」といった内容で大人も子供も一緒に学び、体現し自然と共生し循環型で持続可能な社会を構築しながら奉仕活動を実施したいと考えました。

このプロジェクトには我がクラブ会員全員の惜しみない協力が必要となりますのでよろしくお願い申し上げます。

② ボーイスカウト福岡第 14 団との関わり合いの深化・継続

ボーイスカウト福岡第 14 団は、当クラブの創立事業として発足させ、長きに渡り支えてきた歴史は、当クラブの青少年奉仕事業の柱です。しかしながら近年の関わり合いは薄く、主としては毎年支援金を手渡し、30 キロハイクでは数名のみの参加、上進式に於いては、育成会の会長・副会長のみの出席となっております。

前年度よりこの関係性を見直す為に、クラブ細則の変更を致しました。具体的には、クラブ細則・第 8 条委員会の構成と任務 第 2 節(d)(3)の条項に於いて「公益財団法人ボーイスカウト福岡県連盟 福岡第 14 団に対して、その活動を積極的に支援すると共

に、クラブの会員に対し、理解と関わり合いを深める為に、上進式への参加の呼びかけと、育成会賛助会員への登録のお願い等を推進するものとする。」と記載しておりますので、今後、BS 育成会の森会長を中心に奉仕プロジェクト委員会と協議を重ねながら、具体的に今年度もこれを進めたいと思います。

次に、3つ目の

(c)会員増強を通じてロータリーの発展に寄与することについてですが

昨年度に続き本年度も「オープンロータリー(例会)」を実施したいと考えています。

この理由としては、近年、地区からもこの開催を強く推奨されている事と、これは福岡市内の他クラブの実例で「オープンロータリー(例会)」を開催し、その場に 15 名程の入会をさせたいと思う方々を集め、積極的に入会を勧めたところ、その中から一度に 5 名の新会員が加入したとの事です。我がクラブも昨年よりこれに倣い実施したところ 11 名の参加者の内現在、井口会員と池田会員の 2 名が入会されました。今年度も昨年度に参加された方へのフォローと新たに参加したい方を募って新会員の加入促進を目的とした「オープン例会」を開催する予定でございます。

尚、この件の活動主体は、「会員基盤向上委員会」にてお願いしたいと思っておりますので、委員長を始め、委員各位には率先したご協力をお願いしたいと思います。

次に4つ目の

(d)ロータリー財団を支援することについてですが

昨年度より 5,000 円を増額して年会費請求の際に財団寄付金として 10,000 円とさせて頂いておりますが、当クラブのロータリー財団への年次支援金額は実績としてクラブ平均、2021-22 年度で 104 ドル/人、2022-23 年度で 75.5 ドル/人が現状でございます。

現在 2700 地区から各クラブに対し、支援を要請されている金額は年次基金 150 ドル/人+ポリオ 30 ドル/人 (180 ドル/人×155 円/ドル=27,900 円/人) であります。

そして、前述のとおりロータリー財団を支援することは、定款に定められているクラブの目的の 1 つとなっております。又、クラブからロータリー財団へ支援した金額は、現在運用されているシェアシステムにより、3 年後にクラブの平均支援金額の 50 倍を上限として、クラブの奉仕事業に利用できる仕組みにもなっております。ロータリー財団については、ご理解いただける方と、そうでない方もいらっしゃいますが、クラブ定款の「クラブの目的」となっている事を認識して頂き、現状をご理解いただけるならば、個人的に少しでもご寄付の追加を協力いただければと切に思っております

これは値上げのお願いではございません。

最後に、

(e)クラブレベルを超えリーダーを育成することについてですが

これについては、当クラブは、昨年度より「クラブ研修委員会」が発足し、その活動が成長し参加人数も増えております。又、この委員会は ロータリー研修会「若楠会」部門 と 新会員オリエ

ンテーション部門 の 2 つの役割を担う委員会としています。

ロータリー研修会「若楠会」部門は、クラブとして素晴らしいロータリアンを育てることを目的とした「若楠会」の準備、計画等の運営全般を行い実施する部門としており、新会員オリエンテーション部門は、入会 1 年未満の会員に対し、オリエンテーションの準備、計画等の運営全般を行い実施する部門としています。

特に新会員オリエンテーションに関しては、RI も推奨している通り、絆を深め、活発な会員になってもらう為の大切な機会と考えます。又、調査によると、新会員オリエンテーションを開催しているクラブは、開催していないクラブと比較し、会員維持率が高い事もわかっています。今後、より充実した新会員オリエンテーションを計画・実施し、新会員がロータリアンとしての第一歩をスムーズに踏み出してもらえようクラブ研修委員会が率先した活動を行って頂きたいと思います。

リーダー育成にもう一つ加えるとするならば地区が推奨する“ R L I の受講”を推奨します

以上の 5 項目が、本年度のクラブテーマ(目標)を達成する為の、具体的な活動計画といたします。

2020 年 1 月からの新型コロナ影響でこの時期より当クラブに入会された方は例会の開催も儘ならずましてやクラブ独自の奉仕事業は開催が出来ない状況が続き、ロータリーとは何ぞやとお感じになられているかと思えます。まずは例会出席、メーキャップ 100%を目標とし仲間作りを大切にしながらの活動で

清く、正しく、美しくではありませんが

“楽しい例会 笑顔で挨拶 会いたい仲間”を合言葉に本年度は活動を進める事が会長職を担う私の使命であると思えます。この一年は計画に沿って出来ることを確実に率先して実施して行きたいと思えますので皆様のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2024-2025 年度

「クラブビジョンの達成に向かって！」各委員会へのお願い事項

2700 地区の年度方針等を踏まえ、当クラブのテーマ（目標）、活動計画を立案しました。これに沿って各委員会にお願いをする事項の要点のみを以下に記載しております。クラブビジョンの達成に向かって、各委員長主導のもと率先した委員会活動を宜しくお願い致します。

福岡北ロータリークラブ
2024-25 年度会長 村口 栄一

1. クラブ管理運営 A 委員会(例会プログラム・ロータリーソング部門)

クラブの目的の一つは「五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること」であり、そのロータリー五大奉仕の第一部門はクラブ奉仕です。当該委員会が担当する例会プログラムは、クラブ活力の原泉であり、クラブ奉仕の重要な要素だと思います。又、2024-25 年度野崎ガバナーの地区の目指す姿の中にも、「人間成長の学び舎であり、奉仕の学校である」と言及されています。

例会プログラムについて、2024-25 年度はクラブ協議会及び討論会等を除き 18 回の卓話を予定しています。クラブ協議会及び討論会については、その計画と準備をクラブ役員にて行いますので、それ以外の **18 回の卓話については、その計画と準備を当該委員会にて実施して下さい。**又、卓話者については、**外部の方、クラブ内の方(主にイニシエーションスピーチ)、地区委員会及び卓話者バンクの活用等バランスのとれた計画をお願い致します。**また、他委員会とも調整をしていただきたいと思います。尚、例会を含む会合の設営・監督の責務は SAA となりますので、例会プログラムの情報は、早めに計画を立て、常に SAA と共有する事をお願い致します。

2. クラブ管理運営 B 委員会(親睦活動・出席部門)

ロータリーに於ける親睦は、奉仕を行う上で重要な役割を担っています。当該委員会は、**例会時の受付・出席確認、例会の出迎えとビジター・ゲスト等の案内、年 4 回の夜間例会の企画・案内・実施、誕生お祝い、3 か月毎の会員のテーブル配席、テーブル会の開催推奨等**と多岐に渡り活動をして頂いています。

本年度はこれらにプラスして、**新会員に対しテーブル会への積極参加の呼びかけ、テーブルマスターの心構え等の説明を兼ねた親睦活動も計画して頂きたい**と思います。

ロータリーは親睦が失われれば崩壊するともいわれています。又、親睦はロータリー運動そのものではなく、ロータリーという植物が根をはり、成長し、花を咲かせ、「奉仕」という実を収穫する為に、どうしても必要な、水や、日光や、最良の土壌が「親睦」と言われております。どうぞ率先した活動をお願い致します。

3. 会員基盤向上委員会(会員増強部門、ロータリー情報・会員選考・職業分類部門)

会員増強に関しても、「会員増強を通じてロータリーの発展に寄与する」とクラブの目的の 1 つとなっています。RI や地区も会員増強に対して数値目標を設定しており、これに準じて **2025 年 7 月 1 日時点で 57 名を目標に設定しています。**又、クラブの会員数の増加の為に、新会員の勧誘と現会員の退会防

止(会員の維持)と言う2つの面がありますので、この両面の取組が必要となります。

会員増強は、当クラブの喫緊の課題であり、クラブ会長が強い意志を持って、その意図を会員全てに伝えていきますので、当該委員会にはその活動主体として、委員長はじめ、委員各位には率先した協力をお願いします。

具体的には、**オープンロータリー(例会)の開催です。**2023-24年度、当クラブは新しい取り組みとして、**オープンロータリー(例会)を開催しました。2024-25年度は8月に前回参加者のフォローアップ、2月に第2回オープンロータリー(例会)の開催を計画願います。**

ロータリー情報部門は、「会員にロータリーの歴史、目的、活動、国際ロータリー管理運営の動向に関する情報、国際ロータリー並びに2700地区が発信する情報等を会員に提供し、会員がロータリーに対する理解と魅力を深めるよう積極的に努めなければならない」となっております。2024-25年度も当クラブ事務局で受ける2700地区からの情報を、全て当該委員会の委員長及び部門長と共有したいと考えております。又、国際ロータリーの情報は「My Rotary」から情報の入手が可能となります。そして現在この「My Rotary」は、ロータリーを知り、学ぶ事の出来る大変貴重なツールとなっていますので、「My Rotary」への会員登録促進の役割も当該委員会にて担って頂きたいと思っております。

その意味で、「My Rotary」をテーマにした卓話を計画していただきたいと思います。

4. 広報公共イメージ委員会(クラブ会報・雑誌・広報公共イメージ・DX推進部門)

クラブ会報作成については多大な労力をおかけすることになりますが、委員会全員でご協力をお願いします。

また、クラブ会報にて月信やロータリーの友のトピックスを掲載していますが、半期ごとに特に重要なトピックスを特集した委員会報告をお願いします。

なお、地区発行の月信は、2023-24年度よりDX(デジタル・トランスフォーメーション)化により紙媒体の月信は発行されないことになりましたが、2024-25年度より、ロータリーの友も電子版と印刷版の両方で発行されます。購読料はいずれも同額のため、当クラブでは当面印刷物で対応することにします。

広報公共イメージ部門は奉仕活動の広報のご協力をお願いします。

DX推進部門は、「Japan Rotary Portal site」、「My Rotary」、「ロータリークラブセントラル」について、会員へ活用方法等の説明を計画願います。特に「My Rotary」については、会員基盤向上委員会ロータリー情報部門と協力して「My Rotary」をテーマにした卓話を計画していただきたいと思います。

5. 奉仕プロジェクト委員会(職業奉仕部門・社会奉仕部門・青少年奉仕・BS支援部門・RYLA青少年育成部門・国際奉仕部門)

次年度はクラブの奉仕事業として、次の3つについて取り組むたいと考えています。

① ロータリー財団地区補助金を利用した社会奉仕事業の開催

2024-25年度は、地区補助金を利用した社会奉仕事業の開催を予定しています。計画概要は次の通りです。

里山などの森林環境を整えることは、陸上の環境を豊かにするだけでなく、海まで含めた流域全体の環境を豊かにすることに繋がります。そこで福岡市かなたけの里公園関係者協力の元、一般市民とボーイスカウトをはじめとする青少年を交えて「里山とは何か?」「なぜ里山に人の手を加える必要があるのか?」「人と自然が共存するためにできることは何か?」と言った内容で大人も子供も一緒に

学び、体現し自然と共生し循環型で持続可能な社会を構築しながら奉仕活動を実施する予定です。

このプロジェクトは、実行委員会を設立して行う予定ですが、クラブ会員全員の協力が必要となりますので、是非当該委員会が中心となって活動していただきたく、ご協力を宜しくお願い致します。

②第5グループロータリー奉仕デーについて

地区の方針により2024-25年度はグループ単位でロータリー奉仕デーを行います。現状「障がい者の就職相談会（仮称）」を検討中です。**実施が決定した場合は、当該委員会が一丸となって会員への参加を呼びかける活動をお願いします。**

③ボーイスカウト福岡第14団との関わり合いの見直し

ボーイスカウト福岡第14団は、当クラブの創立事業として発足させ、長きに渡り支えてきた歴史は、当クラブの青少年奉仕事業の柱です。しかしながら近年の関わり合いが希薄になってきたことから2023-24年度以降はこの関係性を見直す為に、クラブ細則・第8条委員会の構成と任務第2節(d)(3)の条項に於いて「公益財団法人ボーイスカウト福岡県連盟 福岡第14団に対して、その活動を積極的に支援すると共に、クラブの会員に対し、理解と関わり合いを深める為に、上進式への参加の呼びかけと、育成会賛助会員への登録のお願い等を推進するものとする。」と変更しておりますので、**2024-25年度も、BS育成会の森会長、村口副会長、並びに当該委員会と協議を重ねながら、具体的にこの条項内容を進めたいと思います。**

6.Rotary 財団・米山奨学委員(Rotary 財団・財団補助金プロジェクト部門・米山記念奨学会部門)

「ロータリー財団を支援すること」も、クラブの目的の1つとなっています。当クラブのロータリー財団への支援金額は、2022-23年度の実績としてクラブ平均で年次基金75.5ドル/人に対し、2700地区から各クラブに対し、支援を要請されている金額は、年次基金150ドル/人+ポリオ30ドル/人です。又、クラブからロータリー財団へ支援した金額は、現在運用されているシェアシステムにより、3年後にクラブの平均支援金額の50倍を上限として、クラブの奉仕事業に利用できる仕組みにもなっております。この為、**年会費請求の際に財団寄付金として、皆様に支援を頂いておりますが、2023-24年度より、この金額を10,000円に増額する事になりましたが、2024-25年度も同様にしたいと考えております。**その意味で当該委員会より、会員の皆様に対して、「ロータリー財団を支援すること」も、クラブの目的の1つであることをご理解いただき、協力に対し感謝の意をお伝えいただきたくと思います。

米山奨学会への寄付についても、みんなの募金箱を通じて、少額でいいので寄付者を増やす呼びかけをお願いします。

7.国際親善委員会

2024-25年度は姉妹クラブである「高雄中興扶輪社」との交流活動はありませんので、他委員会へのご支援をお願いします。

8.長期計画委員会（クラブ長期計画部門・若楠基金計画部門）

2024-25年度より、国際ロータリーとして「3か年計画」が始まります。幸いにして当クラブは当該委員会を2020-21年度に設立し、継続的に活動しています。クラブビジョンの達成に向けて、引き続きクラブを牽引していただき、「3か年計画」にもご協力をお願いします。

9.クラブ研修委員会

クラブ目的「クラブレベルを超えたリーダーを育成すること」のクラブ目標を達成するために、当該委員会には次の3つをお願いします。

ロータリー研修会「若楠会」部門には、定着してきた「若楠会」をさらに実のあるものにしたく、地区あるいは他クラブからの講師の派遣依頼を検討願います。

新会員オリエンテーション部門は、引き続き新会員オリエンテーションを年2回計画願います。これに加え2024-25年度は9月28日(土)に地区ロータリー情報委員会主催の「新会員研修・交流会」が開催されますので、新会員への周知し、積極的な参加を呼びかけ願います。

また、RLI（ロータリー・リーダー・研修会）が地区として年2回開催されますので、副会長・副幹事のみでなく当該委員会の未受講者は率先して受講していただき、さらに会員への参加も推奨していただきたいと考えます。

以上